

## 台風15号の爪痕大きく～千葉・茨城の農業現場

去る9月9日に千葉市に上陸した台風15号。交通関連では計画運休に加え夜半から主要路線は運転取り止め、翌10日首都圏では台風通過後の午前8時から順次間引き運転にて再開されたものの通勤・通学時間と重なり、多くの乗客が主要ターミナルにて改札入場制限を受け夕方まで電車のダイヤは乱れに乱れ大混乱となった。成田空港では台風通過後に到着した乗客が目的地に行けず足止めを食らったのはご存知の通りだ。東京電力の発表では9月末現在でも、低圧線や引き込み線の状況により隠れ停電となっている地区もあるという。港湾施設や湾岸沿いの肥料工場も大きな被害を受けており、通電後の漏電による2次被害を恐れ慎重に慎重を期した復旧作業が行われている。現在でも非常食やブルーシートの配布等が行われている状況にあり千葉県や茨城県では甚大な被害となっている。両県ともまだ農業分野における被害金額は発表されていないが、千葉県の南端を管轄する安房農業事務所では被災した農家に対して、被災対策として支援事業が創設された場合に備えて被災した現場の写真や修繕に掛かった支払書類の保管をまた、栽培施設以外にも作業場や農機具格納庫、共同利用施設の屋根やシャッターの破損、耕運機や防除等の農業機械の破損等も写真に記録しておくように呼び掛けている。千葉県のお得意先様より聞かれた声としては風害により水稻は倒伏、露地野菜は茎葉が吹き飛ばされる、ハウスの倒壊、ハウス内の果菜類や果実は落なし売り物にならない、大規模停電により冷蔵が出来ず腐敗し止む無く廃棄、米の乾燥が出来なかったという声が聞こえて来ている。実際に北総地域の大農業生産地である富里・八街周辺の被害状況を現場確認した。

### 概況について

おおむねトマトハウスは被害を受け（写真上段）パイプハウスは見るも無残につぶれたところが大部分。つぶれるのを逃れても、ビニールが飛び、雨が当たったトマトは、商品価値がなく、廃棄処分になっている（写真中段）。この地域は過去、台風が直撃することはまれで、台風の通り道である九十九里沿岸地域の丈夫な鉄骨ハウスとは異なり、ほとんどがパイプハウスの地域となっている。取り敢えずハウスの片づけが済んでも、パイプ資材の在庫が僅少で、すぐに再開となるめどは立っていない。また高齢者も多く、これを機会に廃業する農家の声もあった。里芋の畑は風でおられて葉っぱが飛んでしまい、今後の生育に支障をきたすことが予想される。（写真右下）落花生については、木が低いので、目立った被害は見受けることはできなかつたが、畑回りで風におられた株は土から落花生が青い状態で出ているところが見られた。（写真左下）育苗ハウスにも被害が及んでおり、今後は春の水稻育苗の培土・肥料販売への影響も心配される。実りの秋真っ只中で台風15号の甚大な被害に見舞われた農業関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を望んでやみません。（東京支店）



## 第9回農業Week（農業資材EXPO）盛況開催中！

10月9日から11日まで、幕張メッセ（千葉県）にてアグリビジネス関連中心の展示会が開催されている。「農業Week」と題し、農業資材EXPO・次世代農業EXPO・6次産業EXPO・今回初開催となる畜産資材EXPOの4部門で構成されており、農業関連の展示会では国内最大級の規模を誇っている。今回はおよそ680社の農業資材関連会社が出展。その中で当社も引き続き農業資材EXPO分野において、エムシー・ファーティコム及び清和肥料工業の2社と共にメインスペースで出展している。今回も多数の出展があり、農業肥料・園芸品・農薬を中心に梱包・被覆資材・鳥獣害対策・畜産資材・農業機械・施設資材ブースが展開されている。昨年と同様、スマート農業関連の取組やその現状と課題に関するセミナーが催されており、どのセミナーも時代のトレンドを感じさせる内容にて聴講に対し事前登録してきた来場者は熱心に受講している姿が印象的であった。昨年に引き続きドローンや通信機器会社の展示ブースには沢山の人だからりにて高い関心度が伺える。6次産業化コーナーでは加工食品に関する機器類やブランド農産加工品の立ち上げ方を提案するブースが各所あり、具体的な成功事例を紹介しながら凝った展示をしており農業資材関連ブースとはまた違った雰囲気があり見ていて面白い。強風対策や地震対策等、自然災害に関する防災関連資材をPRするブースも目立つようになった。国内企業だけでなく昨年同様、今回も中国・韓国・台湾・インドからの出展もあり、商談ブースは活気に満ち溢れていた。

さて、今回の当社のブースは創立30周年を掲げ、一押し商品を絞って商品展示を行っている。また、展示ブース内に共同出展社からの商品説明コーナーを設けて来場者へPRしている。海外から来るバイヤーは省力化肥料・有機質肥料や微量要素肥料や被覆肥料に関しての質問が、また国内の生産者からは水稻基肥一発肥料などの被覆肥料に対する質問が多いようだ。従来からの取引先・ホームセンターなどの量販店との商談は勿論のこと、農材店・農協・生産法人・一般農家に留まらず、中国・韓国・インド・中国などの諸外国のバイヤーとも商談を行っている。

農業Weekは11日（金）まで開催中。関心のある方は是非会場に足をお運び頂き最新の農業事情を肌で感じ取って頂きたい。御来場の際には、当社ブースにもお立ち寄りください。

おかげ様で三菱商事アグリサービス（株）は令和元年10月2日をもちまして、創立30周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の厚いご支援と温かい激励の賜でございます。ここに心よりの感謝を申し上げます。これを機に、社員一同、決意を新たにし、従前にもましてサービスの向上に努めてまいります。今後とも倍旧のお引き立てを賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

### 《創立記念日休業のお知らせ》

来る10月18（金）は創立記念日休業として全社休業させて頂きます。

お取引先の皆さんにはご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

今週末にはまた台風が襲来する予報です。15号と同じようなルートを進むと思われますので早めの対策と避難をお願いします。被害が大きくならない事を願うばかりです。 編集事務局：南部、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp



当社スタッフ及び共同出展社のみなさんと(会場入口の目の前です)

